

中間報告書

平成30年 9月19日現在

1 事業名 星空とヒトを繋ぐプロジェクト

2 実施期間 平成30年 6月 1日～平成31年 2月28日

3 事業内容

① 事業の目的・概要

美星及び近隣住民が建築デザイナーの落合守征氏との協働で星を見上げる装置を作成し、観光やイベント等で美星を訪れた人々が星空だけでなく装置のある風景をSNS等で拡散させて美星の魅力発信となるようにしたい。

まずは装置のプロジェクト会議を開催し今年度の事業方針を確定した。装置作りのワークショップ、装置の体験とお披露目、装置の撮影会、装置の常設展示とPR、観光ルート化へ向けた取り組み、最も力を入れて広報活動を行っております。

② 事業の流れ等

<実施したこと>

- ・プロジェクト会議→概ね月に1回程度、テレビ会議を開催
- ・ワークショップ →平成30年8月4日(土) 午前9時～12時
中世夢が原で行われた「美星っ子夢フェスティバル」に参加
装置を展示し、子供たちには装置の模型を作成してもらった
- ・装置の広報活動 →A Design Award 2018 (イタリア)
イタリア最大規模の国際デザイン賞 **A' Design Award** を受賞しました。

A' Design Award はイタリア・ミラノに本部を置く世界最大規模の国際的デザインコンペティションです。*A' Design Award* のエントリーは、国際的に著名な学者、ジャーナリスト、デザイナー、経営者ら 212 名の国際審査員による匿名の投票で審査されます。指名されたデザインは、トップデザインのみを選別する為に、所定の評価基準のもとで投票されます。優れたデザイン、技術、創造性を示した世界中の最高の商品、プロジェクト、サービスに対して、優れたデザインと革新のシンボルである *A' Design Award* が贈られます。

→公益社団法人日本サインデザイン協会 (SDA) から、SDA銅賞をいただくことができました。

日本サインデザイン賞は、優れたサインデザイン作品を広く社会にアピールすることにより、サインデザインの普及および啓発をはかることを目的として、1966年以來続けられてきたわが国で唯一のサインデザインに関する顕彰事業です。

今日のサインは、都市空間や企業活動と生活者をつなぐインターフェイスとして、即ち環境を活性化しコミュニケーションを成立させるためになくてはならない情報として位置づけられ、その作例は多様な拡がりを見せています。

年に一度開催される日本サインデザイン賞では、そうした概念と手法の拡がりに対応しながら、質の高いサインデザイン作品を募集、審査し、優れた作品に贈賞をおこなっています。

<今後、実施すること>

- ・装置の体験会を実施 →9月15日開催予定の「宇宙ガールズミーティング」が中止となり、12月15日に「ふたご座流星群 観望会」を星空間キャンプ場で開催する予定。
装置の中から星空を見上げ、装置と写真撮影を行いSNSを使ってWEB上で情報拡散してもらうなど、参加者それぞれが「わたしの特別な場所・美星」のプロモーションを実施する。
- ・観光化への取組 →観光協会や市役所（魅力発信課）・地域おこし協力隊と協力して、美星を訪れ美星の文化に関わることが出来る仕組みをつくるため、観光資源のルート化やツアー企画に向けて連携していく。
期間を限定して町内の5～6ヶ所に装置を常設します。それらを探しながら町内を巡ってもらうようにします。
- ・新たな装置の作成 →シンプルな構造、更なるデザイン性の向上、強度、安全性の強化をはかり、新たに「装置」を予算内で製作することを検討する。県内産の木材を使用したいと考えています。

③ 成果・効果

- ・ワークショップを行い「美星っ子夢フェスティバル」に参加した美星町内の子供たちに装置を見て、自分で新たな装置の模型を手作りすることで一段と身近な存在として感じる事ができたのではないかな。
- ・装置のデザイン性を日本国内だけでなく世界にアピールするため、建築デザイナーの落合守征氏が世界のデザインコンクールに出展していただき、イタリア最大規模の国際デザイン賞 A' Design Award を受賞しました。また国内では公益社団法人日本サインデザイン協会（SDA）から、SDA銅賞をいただくことができました。これらの受賞により世界的に有名な「ロンリープラネット」からも、装置を見ることが出来るのか、といった問い合わせをいただくこともありました。

④ 課題等

- ・装置の体験会を行う予定にしていた「宇宙ガールズミーティング」が西日本豪雨災害の影響で中止されるなど、町内外で開催される予定の様々なイベントが中止される事態になりました。そのため、装置の体験・撮影イベントとして星空間キャンプ場で開催する「ふたご座流星群 観望会」を12月に実施することになりました。
- ・近隣の市町でのイベントが中止に伴い、イベントへの出展など地域での観光化に向

けた取り組みが全くできておりません。それだけでなく観光客の減少やイベントへの関心の低さもあり、情報発信が十分に行うことができていません。

4 参考事項・資料

写真（データでも提出すること）

当日資料

アンケート結果 他





SDA
Society for Design Award

日本の美術の中心
平成29年11月25日

第10回デザインコンペイトウ 総合 賞 様

公益財団法人日本デザイン学会
会長 賞状 様

第10回日本デザインコンペイトウ結果発表のお知らせ

皆様、格下まで発表の心をお寄せいただきありがとうございます。
当協会では、優れたデザイン作品を広く社会にアピールすることによりデザインの普及および啓蒙を目的として、1985年からは毎年一回のデザインコンペイトウを開催する事業を行っております。この度、11月25日(金)に開催いたしました第10回日本デザインコンペイトウ二次審査会におきまして、2,013件を募集した作品の中から、審査員の選定による審査の結果、

作品名 某様一室と人との関わりを表現する
が、第10回日本デザインコンペイトウ結果が決定されましたのでお知らせいたします。入賞の栄を授けられましたこと、心から感謝申し上げます。

謹言

記

お知らせいたしました「第10回日本デザインコンペイトウ 審査結果発表」にてご案内いたしました、入賞一室業績に表彰される賞状は、送付の申込書にて希望が無い場合は、応募シートに記載されたデザインレーター名およびクライアント名の行数が実行されます。
応募者様側において、賞状表記名の変更を希望される場合は、送付の申込書にてご依頼ください。
また、通知の発行が必要な場合も、送付の申込書にてお申し込みください。
贈賞は来月(11月25日)以降の送付となりますが、後日改めて日時をご連絡させていただきます。
また、SDA総務委員会では、11月25日(金)第10回日本デザインコンペイトウ賞作品集をお贈りいたします。作品集には、受賞作品の画像とともに受賞者様のコメントを掲載いたします。つきましては、下記の手続きで郵送をご依頼いたしましたこと、感謝いたしますようお願い申し上げます。

1. 賞状内容	受賞のご感想や作品の制作背景など。
2. 賞状文字数	日本デザインコンペイトウ賞賞状 300字程度
3. 賞状および賞状送付希望時期	平成 30 年 3 月 (10 月中旬) 賞状送付希望時期は、Mail: info@sda.or.jpにてお送りください。送付の際は必ずお振込みください。また、お振込みには賞状送付希望の旨をお知らせいたします。
4. お問い合わせ	公益財団法人日本デザイン学会 事務局 TEL: 03-5529-4000 E-Mail: info@sda.or.jp

以上、まだご連絡がからず申すところをお知らせ申し上げます。